

# 65



国・自治体からの補助で  
肺炎球菌ワクチンを接種できるのは、  
**65歳の時だけ。**<sup>注)</sup>

65歳の方へ 肺炎球菌ワクチンの大切なお知らせです。

定期接種<sup>注)</sup>で肺炎球菌のワクチンを接種できる  
この機会に、ワクチン接種を考えてみませんか？

注：成人の「定期接種」とは、「予防接種法」に基づき、国が定めた対象者が指定した接種期間にワクチンの接種を受ける場合に、原則無料で接種を受けられるか、一部公費負担がある予防接種です。成人の肺炎球菌ワクチンの定期接種は、65歳の方、60～64歳で一定の基礎疾患がある方（心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方）に対して、生涯で1回だけ、ワクチンの接種費用に対して補助が受けられます。

厚生労働省 高齢者の肺炎球菌ワクチン [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_jiryou/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/pneumococcus-senior/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryou/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/pneumococcus-senior/index.html) 2026/02/12参照

詳しくは ▶ おとなの肺炎球菌感染症を学ぶへ

おとなの肺炎球菌

🔍 検索

